

微量採血のための^{せんし}穿刺器具の使用について(お知らせ)

血糖値を測定するための「微量採血用穿刺器具」の使用方法が問題になっています。

平成18年3月に国から、採血用の穿刺器具の取り扱いについて、**針自体の交換を行っても針の周囲部分を介して感染することも否定できないことから**、針の周囲部分が使い捨てでないものを複数の患者に使用することについて、注意を促す通知がされました。

市立2病院においてこの使用状況について調査を行った結果、「針を交換して、さらに針の周辺部位を消毒して使用していた事例」が判明しました。

現在のところ国内において同器具が原因と考えられる感染例はなく、感染の可能性は極めて低いと考えられます。

信楽中央病院

- 使用期間**●平成16年6月25日～平成18年11月
使用状況●健康教室のみに使用し、入院や外来での使用はありません。針は個々に交換し、針周辺部分(キャップ)はアルコール消毒を行って使用していました。
対応状況●健康教室に参加された方へは、説明書による案内をさせていただき、希望の方には医師からの説明をさせていただいています。

問い合わせ

信楽中央病院 ☎82-0249 FAX82-3060

※微量採血のための穿刺器具とは、主に血糖値を測定するため微量の血液を採取するために用いる器具で、通常の注射器などとは違います。

水口医療センター

- 使用期間**●平成9年5月～平成11年2月14日
使用状況●旧水口市民病院の入院病棟で血糖値測定のためだけに使用し、外来や健康教室での使用はありません。針は個々に交換し、針周辺部分(キャップ)はアルコール消毒を行って使用していました。
対応状況●上記期間に入院された方で指先から測定のために穿刺をされたお心当たりのある方で不安を感じられる方は、下記までご連絡ください。希望の方には医師からの説明をさせていただきます。

問い合わせ

水口医療センター ☎62-3346 FAX63-1728

問い合わせ
水口医療センター
☎62-3346
FAX63-1728

このたび、糖尿病専門外来に引き続き、月曜日(八尾医師)・木曜日(岡医師)の循環器内科外来でも10月20日(月)の診療から予約制を導入することとなりました。ご理解とご協力をお願いいたします。

循環器内科外来
に予約制を導入
水口医療センター

9月10日、16日は自殺予防週間

平成19年度の自殺死亡者が全国では3万人を超えています。この痛ましい事態を深刻に受け止める必要があります。

自殺は、個人の自由な意思の選択の結果を思われがちですが、実際には、さまざまな要因が複雑に関係して、心理的に追い込まれた末の死と言えます。自殺者の多くは、自殺の直前にうつ病などのこころの病気がかかることがあります。適切な病気の治療を受けることにより、自殺を防ぐことが可能です。

うつ病のサインに 気をつけましょう!

- ◎なんだか気分が落ち込んでしま、元気がない
- ◎からだがだるく疲れがとれない
- ◎食欲がない
- ◎眠れない

こうした不調が長い期間続いたり、仕事や家事など普段の生活に支障が出てきたりしたら、単なる不調ではなく、うつ病などのこころの病気がかもしれません。専門「医」にご相談ください。

問い合わせ

保健介護課 健康支援担当 ☎65-0703 FAX63-4085